

平成 20 年度再評価対象事業一覧表 (事業採択後、一定期間(5~10年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト縮減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課案)	備考
	一般県道 川上牛津線 地方特定道路整備事業 事業主体：県 事業地：佐賀市大和町久留間	本路線は、国道323号(佐賀市大和町川上)を起点とし、小城市三日月町経由し国道207号(同市牛津町)を結んでいる。同路線は途中基幹道路である国道34、203号も横断しており、幹線道路間の連絡道路としての機能も有しているため利便性が高く、沿線は宅地開発が進んでいる。このため交通量も年々増加している。また、計画区間近隣に小・中学校もあり自転車歩行者も多い。しかしながら、現道は、幅員が狭く、線形も悪い上、歩道が未整備なため危険な状況となっている。そのため、交通の円滑化と自転車歩行者の交通安全確保を図るため現道拡幅とバイパス及び歩道の整備を行うものである。	全体事業費：9.2億円 工期：H9～H22 事業内容 延長 L=1,500m 幅員 W=12.0(6.5)m 改良工 L=1,475m 橋梁工 2橋(L=25m) 舗装工 L=1,500m 測定 1式 用地補償 1式	H19末進捗率：約65% (事業費ベース) (年平均進捗率 6%) 用地補償は6割完了	交通量の増加 [H6] 8,207台/日 [H9] 11,120台/日 [H11] 10,669台/日 [H17] 12,710台/日 歩行者 108人/日 自転車 114台/日	事業採択時と比較して、要因の大きな変化は見られない。 B/C = 39.9	(コスト縮減) ・再生資源の利用促進を図っている。 ・工事で発生する残土を盛土等に流用する。 (代替案の検討) ・特になし	事業着手より10年が経過	継続 (理由) 現道拡幅区間を先行して用地買収と工事を進めている。 依然として危険な状況が解消されていないため、事業を継続し交通の円滑化を図る。	

